

情報発信「アンテナ」(第16回)

F VILLAGE
HOKKAIDO BALLPARK



『HOKKAIDO BALLPARK F VILLAGE
(北海道ボールパーク F ビレッジ)』の紹介と
駐車場運営における新システムについて

三菱地所パークス株式会社

取締役常務執行役員 平石 政人

今回はHOKKAIDO BALLPARK F VILLAGE(北海道ボールパーク F ビレッジ、以下、F ビレッジ)の施設紹介と駐車場の運用システムについて、三菱地所パークス(株)が駐車場運営を行っている視点でご紹介をさせていただきます。

2023年3月、北海道日本ハムファイターズ(以下、ファイターズ)の新球場を含めたエリア、F ビレッジが誕生しました。“Sports Community”を球団理念とするファイターズが開業した施設は、野球の試合を観戦するためだけではなく、野球ファンの方々、パートナー、地域住民が一緒になって、地域社会の活性化や社会への貢献につながる“共同創造空間”を目指しております。

F ビレッジは、約32ヘクタールという広大な敷地面積の中で、自然と共存する次世代ライブエンターテインメントや心身を育むウェルネスソリューション、文化交流が活発な街づくりがされており、まったく新しいクリエイティブなコミュニティスペースです。国籍、年齢、性別を問わず、より多くの人がこの場所に集い、ともに夢や理想を実現していく、北海道のシンボルとなる、世界がまだ見ぬボールパークが誕生いたしました。



北海道ボールパーク F ビレッジ 公式HPより

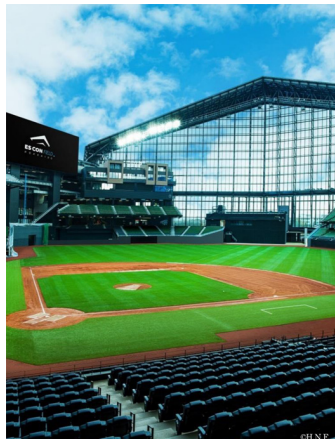
◆エリアの名称について

F VILLAGE

HOKKAIDO BALLPARK

エリア名「北海道ボールパーク F ビレッジ」は、新球場プロジェクト立ち上げ期から使用している「北海道ボールパーク」という名称に、複数の意味を持つ頭文字「F」、北海道を象徴する「七光星」、街づくりを表す「VILLAGE (ビレッジ)」を加えることで、北海道の新たなデスティネーションにしたいという想いが表現されております。アルファベット「F」には様々な意味が込められており、事業パートナー様やファン、道民の皆様と共に新たな意味や価値を創造していく想いを込めた名称となっております。

◆新球場の概要 [以下、北海道ボールパークF ビレッジ 公式HPより]



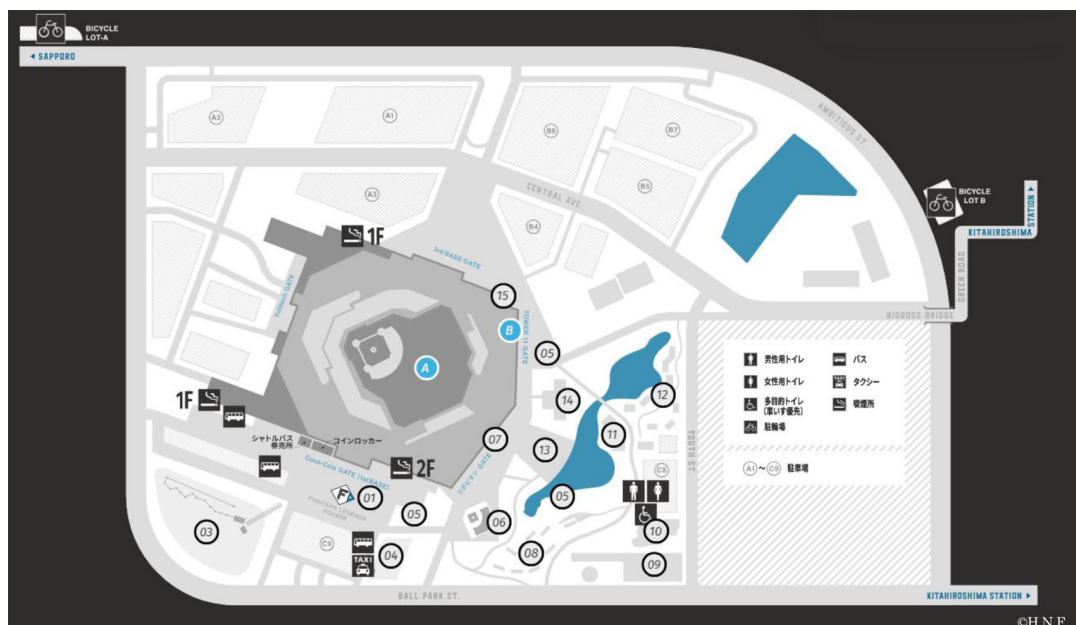
ES CON FIELD HOKKAIDO(エスコンフィールドHOKKAIDO、以下、エスコンフィールド)[※]は、敷地面積5ha、収容人数は約3万5000人。掘り込み式フィールドから地上4階まで観客エリアが広がります。周辺環境との調和を第一に考え、建物中層部にテラスを複数造るなど、地域に溶け込むデザインを採用した、日本初の開閉式屋根付き天然芝球場。芝の育成を促すため南側は一面のガラス壁に。五感で心地よさを感じることができる、プレイヤーファーストとファンファーストの両立を目指した新球場であります。

◆新球場名称(※ネーミングライツ)

球場の名称については、ネーミングライツを募り、2020年1月29日に「ES CON FIELD HOKKAIDO(エスコンフィールド HOKKAIDO)」に決定されております。ネーミングライツに選ばれた企業として、首都圏・近畿圏を中心に全国で不動産総合開発事業を展開する中部電力グループ 株式会社日本エスコン(本社：東京都港区、以下「日本エスコン」という)が、F ビレッジにおいて展開するまちづくりに参画することが決定し、地域に根ざす新たな価値を創造するライフ・デベロッパーとして、F ビレッジにおける各種事業開発を担っております。また、パートナーシップの象徴として日本エスコンと球場ネーミングライツ(命名権)契約を締結し、新球場の名称が決定いたしました。

ロゴデザインについては、新球場の象徴である開閉式屋根のシルエットに北海道の象徴である七光星をアクセントに加え、シンプル且つ普遍的なロゴデザインが採用されております。

◆F ビレッジ全体図



【HOKKAIDO BALLPARK F VILLAGE】 住所：北海道北広島市F ビレッジ

A. ES CON FIELD B. TOWER 11

01. FIGHTERS LEGENDS SQUARE 03. ADVENTURE PARK

04. ユニ・チャーム DOG PARK 05. F VILLAGE GARDEN 06. F PLAY FIELD

07. リポビタンキッズ PLAYLOT by BørneLund

08. BALLPARK TAKIBI TERRACE ALLPAR 09. KUBOTA AGRI FRONT

10. キッズラボ 北海道ボールパークF ビレッジ 認定こども園

11. TruffleBAKERY BAKERY & RESTAURANT

12. VILLA BRAMARE HOKKAIDO BALLPARK F VILLAGE 13. WIND PLAZA

15. FIGHTERS FLAGSHIP STORE

◆F ビレッジの施設コンセプトについて

ファイターズでは、F ビレッジが目指す街づくりとして、ただ野球を観戦するだけではなく、あらゆる世代が楽しめるように、居心地のよい空間が創出されております。

代表施設としてエスコンフィールドには、「世界がまだ見ぬボールパーク」として360度回遊型のコンコースや選手と同じ目線で観戦できるスタンド席であったり、野球観戦の常識を超えたエンターテイメント要素がたくさん詰まっており、圧倒的な臨場感で観戦を楽しんだり、北海道ならではの旬の食材を使った料理を堪能したり、ひとりひとりにあった特別な体験ができる施設となっております。



北海道ボールパーク F ビレッジ 公式HPより

- ① エスコンフィールドでは、野球観戦をより楽しんで頂けるように、世界初のフィールドが一望できる球場内クラフトビール醸造レストランの“そらとしば by よなよなエール”や、日本全国から選りすぐった名店10店舗が集まった“七つ星横丁”を展開しており、これまでになかった、食べて・飲んで・語らえる空間に絶品グルメが用意されております。



「球場内の七つ星横丁」



「フィールドを見渡せるそらとしば
by よなよなエール」
株式会社ヤッホーブルーイング

- ② エスコンフィールドの中には、あそび道具を提供するボーネルンド直営として日本最大級の子どもの遊び場が通年営業として設けられるほか、屋外にはミニチュアのフィールドやブランコなど、子どもが楽しめる施設が展開されています。また、球場内レフト側の5階層ビル「TOWER 11(タワー・イレブン)」内には、あらゆる世代のご来場者が楽しめるよう、世界最先端の本格的な乗馬シミュレーターやシミュレーションゴルフの施設が用意されており、晴れの日も雨の日も1年を通じて思う存分体を動かすことができます。エスコンフィールドの外には、空中アスレチックや空中ブランコなどが楽しめるF VILLAGE ADVENTURE PARKやF ビレッジ周辺をランニングできるコースを設ける他、自転車をレンタルして北海道の大自然を感じたりするなど、野球観戦だけではない体験ができる施設が充実しております。



「F VILLAGE ADVENTURE PARKの
SKY ADVENTURE」
株式会社EXコミュニケーションズ



「乗馬倶楽部銀座 HOKKAIDO」
有限会社マツカゼ

- ③F ビレッジの中心には、北海道の自然を体感できるアウトドアショップやこだわりのコーヒースタンドなどが入る商空間THE LODGE(ザ・ロッジ)が展開されるほか、エスコンフィールド内には2層吹抜けの大空間に過去最大の面積となるファイターズフラッグシップストアが誕生しております。球団の歴史に触れられるコンテンツなどが用意されており、ショッピングも楽しめる施設となっております。



「自転車ブランドのスペシャライズド、
アジア初のエクスペリエンスセンター」
スペシャライズド・ジャパン合同会社



「ファイターズフラッグシップストア」

- ④F ビレッジでは、自然やエンターテインメントに囲まれた新たな宿泊体験が可能な施設として3つの宿泊施設が誕生しています。エスコンフィールド内にある5階層ビルTOWER 11には、世界初の球場内温泉・サウナやアジア初のフィールドを眺めることができるホテルなど、新たなスポーツで味わう興奮や感動そのままに滞在を楽しめるようになっております。また、エスコンフィールド南側の水辺の周辺には2つの施設があり、VILLA BRAMAREでは一棟貸切のヴィラで贅沢な時間を過ごすことができ、ALLPARでは、グランピング施設で焚き火を囲み、北海道の四季折々の自然を感じる非日常体験が可能となっております。

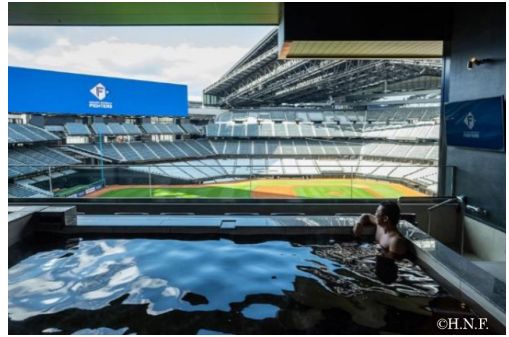
○tower eleven hotel <運営会社 株式会社SQUEEZE>

エスコンフィールド内に「泊まりながら観戦する」という唯一無二の体験ができる施設として、レフトスタンド奥からフィールドを一望できる客室が用意されております。また、

客室はベースボールや球場の文化に敬意を表した、個性的なコンセプトを持つ12室で構成されており、仲間や家族、大切な人と、記憶に残る最高のひと時を過ごせるエンターテインメントホテルです。試合がある日は客室や宿泊者のみ利用できるルーフトップから試合を楽しめ、試合がない日もF ビレッジの様々なアクティビティを満喫する上での滞在拠点になります。



「tower eleven hotel」



「天然温泉とサウナ施設」

○VILLA BRAMARE HOKKAIDO BALLPARK F VILLAGE

<運営会社 株式会社 藤井ビル>

F ビレッジでは「贅沢な時を過ごせる一棟貸切りのプライベートヴィラ」施設として、「五感で愉しむ『静』と『動』」をコンセプトとし、五感で静寂と感動、興奮を同時に味わえる贅沢な時間を過ごせるプライベートヴィラが用意されております。浴室にはジェットバス・サウナ・水風呂・外気浴スペースを完備。道産木材を使用した建物や家具、道産食材の提供などを通じて、世界中の方々に極上の「おもてなし」を提供できる施設となっております。



「Waterside Villa」

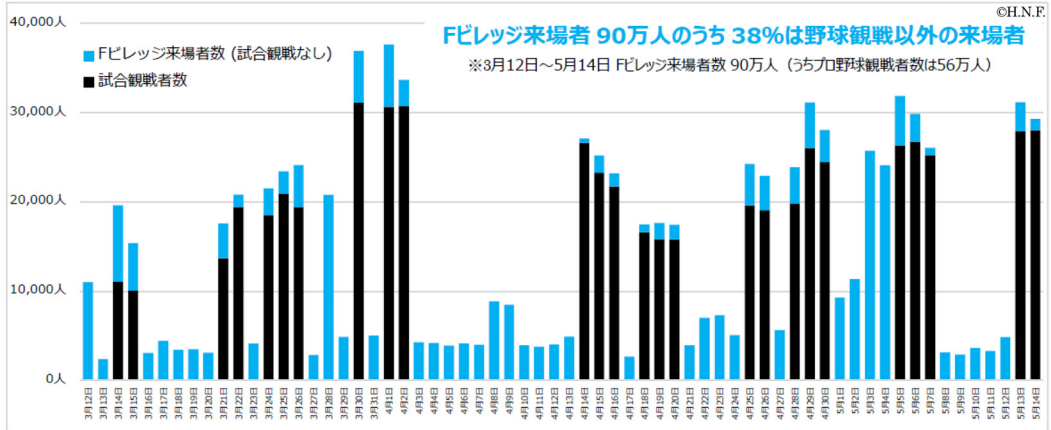


「Hillside Villa」

◆開業から今日まで<F ビレッジ来場者数>

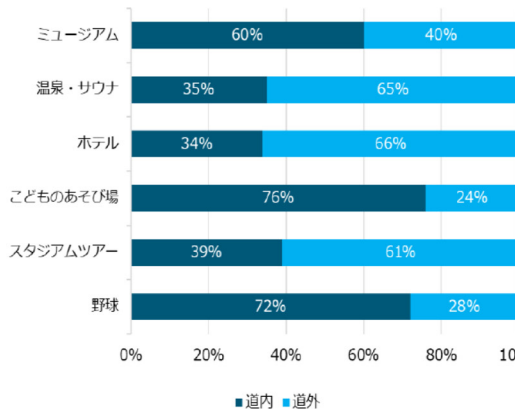
3月12日(プレオープン)～5月14日までの63日間において、F ビレッジには90万人(1日平均14,300人)が来場。試合が無い日の来場者数は平日5,000人・休日10,000人規模。地元だけでなく、遠方(全国)からの来場者にも多くご利用頂いております。

<F ビレッジ来場者数>

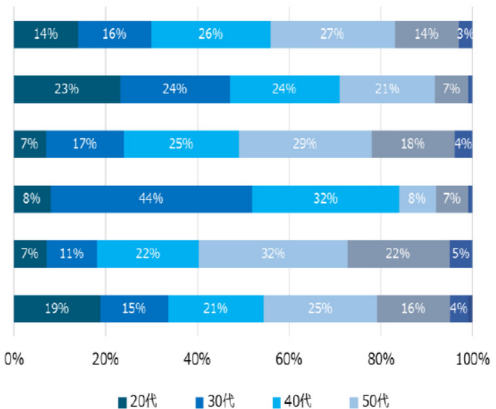


- ・来場者の居住エリアの傾向は、道内約8割、道外約2割の構成。
(※昨年までの道外来場者は約10%)
- ・道外来場者の居住エリアは、東京、神奈川、千葉、埼玉、大阪、愛知の順。
海外からの来場者も。
- ・F ビレッジの特徴的施設利用者の属性を見ると「温浴・サウナ」「ホテル」「スタジアムツアー」など道外比率が60%超。
- ・世代別では「こどもの遊び場」(道内76%)、「温浴・サウナ」(道外65%)については、20代・30代の利用者が約半数を占めています。
- ・野球観戦では呼び込み難い顧客が来場しており、F ビレッジへの集客の裾野拡大に寄与しております。

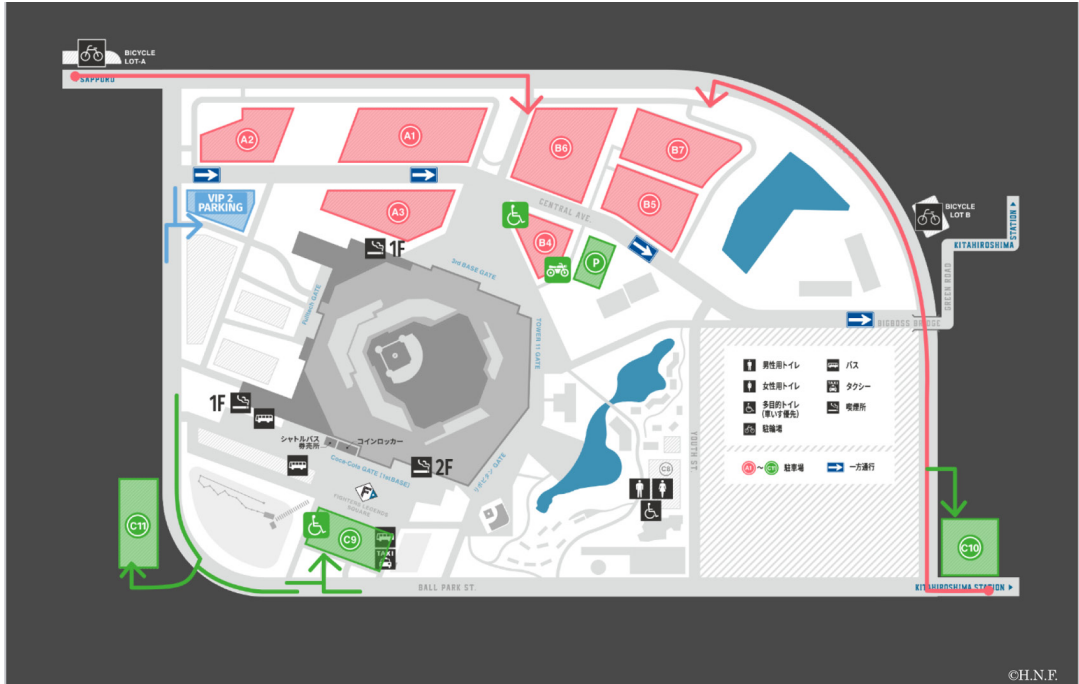
<施設別 道内・道外比率>



<世代別比率>



◆北海道ボールパーク F ビレッジ 駐車場概要 (2023年5月31日現在)



収容台数約4,000台 平面駐車場 24時間営業

○試合日の駐車施設

利用可能な駐車場 A1、A2、A3、B4、B5、B6、B7、C10、C11、レ・ジェイド北海道ボールパーク

試合日は事前予約が必要 料金 1,000円～3,500円(税込)

○非試合日の駐車場施設 <予約は不要>

利用可能な駐車場 A1、A2、A3、B4、B5、B6、B7、C8、C9

●一般車駐車券 A1、A2、A3、B4、B5、B6、B7

・平日：最初の30分無料、以降100円/30分、最大600円/日(23：59までの出庫の場合)
 ※2,000円以上のお買い物で駐車料金100円引き、5,000円以上のお買い物で駐車料金300円引き

・土日祝：500円/台(9時～21時30分)
 ※店舗利用等における駐車料金の割引サービスはございません

※上記時間帯以外で駐車場をご利用の際は、別途時間料金が発生します

●C8、C9駐車場

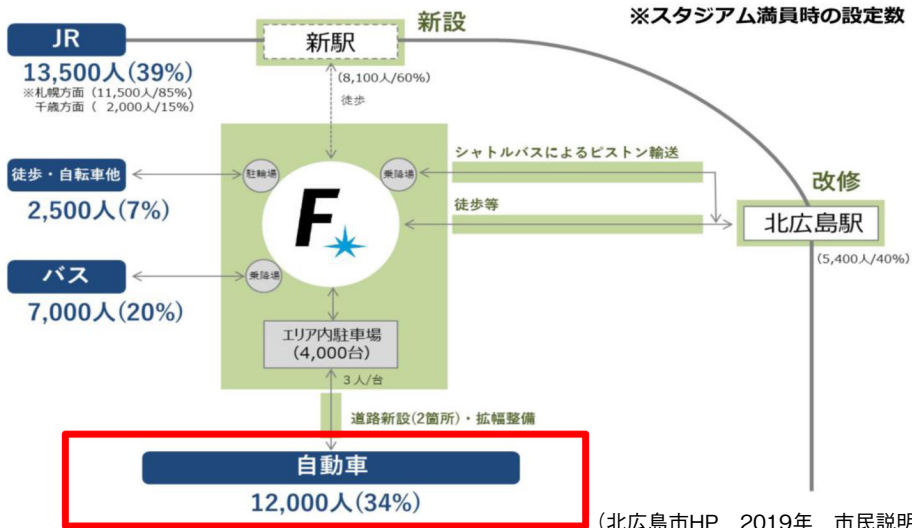
・平日：最初の30分無料、以降100円/30分、最大600円/日(23：59までの出庫の場合)
 ・土日祝：最初の30分無料、以降150円/30分、最大900円/日(23：59までの出庫の場合)
 ・割引サービス(NON GAMEDAYのみ適用)

●レ・ジェイド北海道ボールパーク立体駐車場

・最初の30分無料、以降150円/30分 ※最大料金はございません
 ※店舗利用等における駐車料金の割引サービスはございません

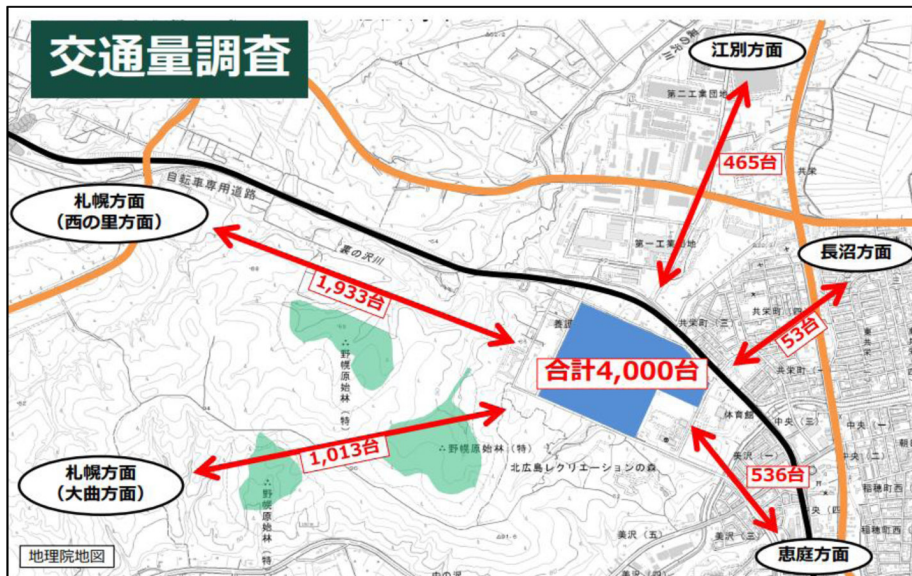
◆駐車場運営開始前におけるシミュレーションの実施

まず初めに、F ビレッジは前ページにご紹介の通り、日本発のスポーツエンターテイメント施設として開業しております。また、施設の最大の特徴であるエスコンフィールドでは野球の公式試合が年間約80試合前後開催されることから、試合開始前・試合終了後の出入庫を如何にスムーズにして頂くかが最大のポイントになっており、駐車場運営を検討するにあたり、以下の交通分担率をベースとして運営検討を行っております。



○上記分担率から方面別の道路利用状況のシミュレーションを実施。

各交差点の利用状況から方面別の稼働予測を立てて、4,000台の利用駐車場の誘導方法を決定。

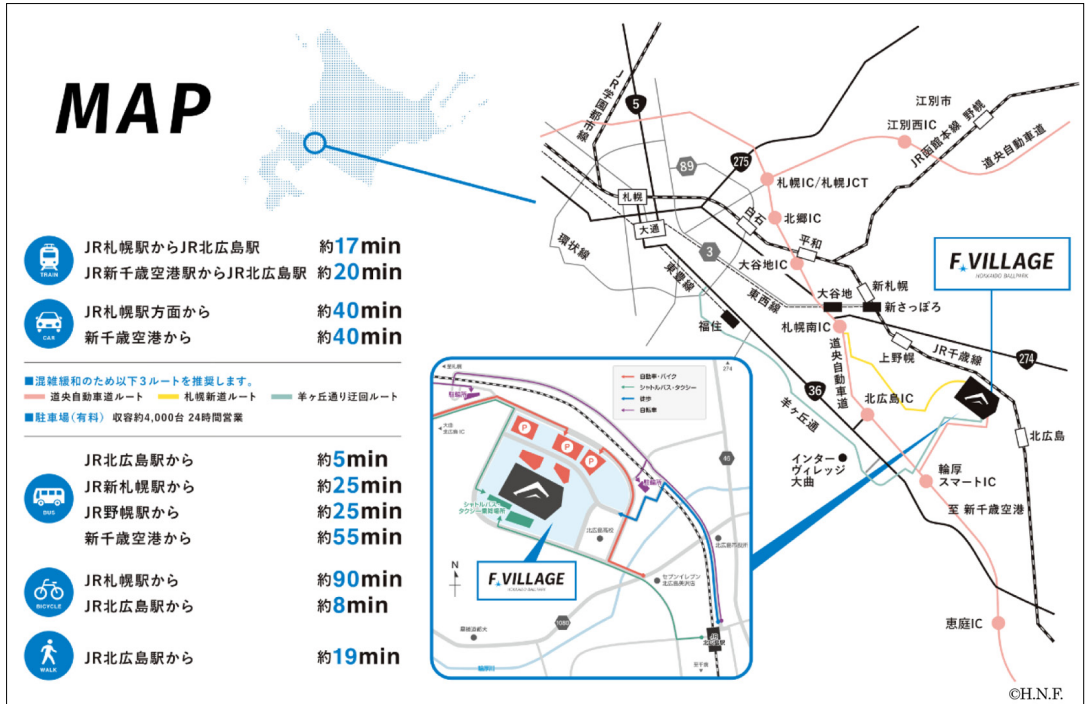


(北広島市HP 2019年 市民説明会資料抜粋)

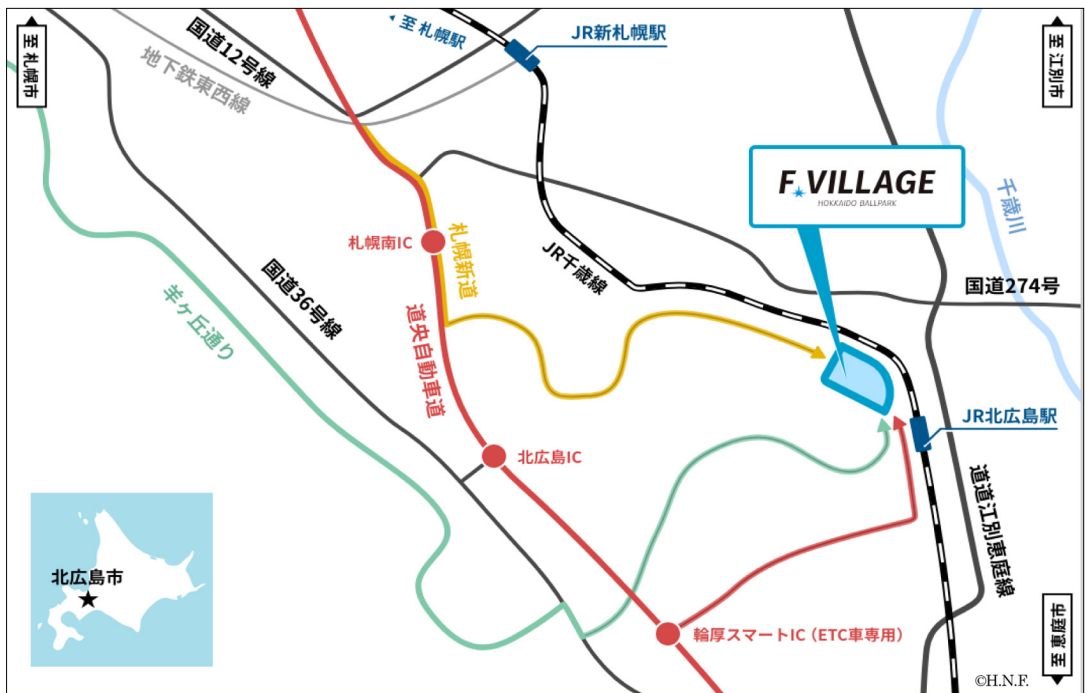
以上の検討のもと、道路利用率や負担率などを確認した上で、試合日については予約制の駐車場を前提として運営方針を決定。

○方面別推奨ルート

各方面からのアクセスは、以下の通りとなっております。



●自動車・バイクによる各方面からのアクセスは、以下ルートを推奨。



・札幌市北部方面

手稲区・北区・東区・白石区・厚別区方面からは、国道274号より札幌新道・大曲通・きたひろしま総合運動公園線ルートを推奨。

※札幌新道のルート上に、円形上の交差点(ラウンドアバウト)が新設。※右図参照

・札幌市南部方面

西区・中央区・南区・豊平区・清田区方面からは、国道36号より羊ヶ丘通・輪厚中の沢ルートを推奨

・高速道路ご利用の場合

札幌方面からは、札幌南IC出口または輪厚PAに接続された輪厚スマートIC(ETC車専用)出口から推奨

・千歳方面からは、恵庭IC出口からを推奨

※試合開催日は周辺道路に車両通行規制があります。



北海道空知総合振興局
ホームページより抜粋

◆Fチケ※連動によるチケットレス、キャッシュレスの駐車場運営を実現

Fビレッジが目指す「あらゆる世代の方々が集うコミュニティ」や「共同創造による持続可能な街づくり」に寄与させる事を目的に、三菱地所パークスが培ってきた駐車場ノウハウ、安全で快適な時間をお過ごし頂ける高品質なオペレーションとFチケを組み合わせることで、Fビレッジへ来場される皆様がスムーズな入出庫を体験できる駐車場を共同開発いたしました。特に、各道路の利用状況から渋滞を最小限に留める施策として、Fチケと丸紅ネットワークソリューションズ株式会社のAIカメラと三菱地所パークスのパーキングアナライザーの連動を実現。

<具体的な取り組み>



- ・スタジアム観戦チケットと駐車券を一体にすることで持続的かつスムーズな入出庫を実現
試合開催日は、事前に駐車券を購入頂き、入出庫におけるチケットレス化に貢献。
試合観戦チケットと駐車券をセットで購入することで、スムーズな入出庫を実現いたします。
- ・試合日によって駐車場価格のレンジを設けることで需給に応じた価格を実現
需給に応じたダイナミックプライシングで価格(レンジ)が変動します。
駐車料金：1,000円～3,500円(税込)※試合日によって上記価格内で変動します。

- ・車いす専用駐車券をFチケ連動することで安心して止めて頂ける環境を整備
- ・車いす駐車券は、車いす席を購入された方のみが利用できる駐車エリアとなります。



F ビレッジの駐車場では、最新の高性能AIクラウドカメラ「TRASCOPE」をゲートに導入しており、車両番号を高確率で識別することができます。Fチケにログインし、「マイ車両番号」を登録すると、窓を開けてチケットを出す必要がなく、ゲートが自動で開きます。入場時の手間が減り、スムーズに駐車できます。

- ※QRコードは株式会社エンソーウェブの登録商標です
- ※AIクラウドカメラ「TRASCOPE」は丸紅ネットワークソリューションズ株式会社の登録商標です
- ※Fチケは株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテインメントが運用しているチケット予約販売システムです

◆事前予約状況から方面別渋滞予測



三菱地所パークスでは駐車券を購入頂いた車番登録情報から方面別の道路利用予測を立て、事前に渋滞予測マップを作製し、ファイターズへ予測マップを提供しております。来場されるお客様が安心して施設に来場する為の一助として、ファイターズでは試合前と試合後の予測マップを公式HPに掲載しております。

◆パーキングアナライザーとは

従来の車番認識システムは、駐車場の発券・精算機やゲートと連動した大規模な製品が中心でしたが、本製品はゲートや精算機の設置されていない駐車場にも設置可能な製品となっております。また、クラウド環境で閲覧可能な分析ソフトは、PCのみならず、タブレットPC、スマートフォン等にも対応しており、リアルタイムに来場車両の動向を把握することができます。

さらに、一般財団法人自動車検査登録情報協会、一般社団法人全国軽自動車協会連合会と

連携し、ナンバープレート情報から登録自動車・軽自動車の登録検査情報データの一部を取得し、車の登録地情報を地図化することで、お客様の来場予測を詳細に分析することが可能。

商業施設やアミューズメント施設における分析ツールとして、またビッグデータ等の新マーケティングシステムとしての活用を提案しております。



【丸紅ネットワークソリューションズ株式会社HPより】

◆最後に

当社では、日々進化するF ビレッジに応じた駐車場運営を目指し、来場される皆様に、安全で快適な時間をお過ごし頂けるよう高品質なオペレーションと、最新技術導入による新しい駐車体験の提供を行っております。

今まで培ってきた駐車場ノウハウと、三菱地所グループの街づくりや不動産ナレッジを組み合わせることで、より付加価値の高い駐車場の運営を目指してまいります。

【事務局からのお知らせ】

今回の情報発信「アンテナ」でご紹介しました「北海道ボールパーク F ビレッジ」へは、本年11月に開催する秋季駐車場研修会にて視察を行う予定です。皆様のご参加をお待ちしています。